

9 小倉山森林再生プロジェクト ～地域の人々の輪によるアカマツの再生～



景勝・小倉山を守る会 京都府 京都市

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

京都の西に位置する嵯峨嵐山は自然豊かな環境であるとともに、全国でも数少ない都市型観光地です。地域には沢山の旅館・ホテル、飲食店、商店街、寺院が立地しています。その嵯峨嵐山の地においても特に際立つ小倉山は、平安時代より紅葉と鹿の名所として和歌に読まれる名山であり、歴史的風土特別保存地区にも指定され、小倉百人一首でも有名な場所です。

毎月、地元団体・住民等地域の方々とともに維持管理活動を行ったり、文化人等が多い小倉山において地元の人々が講師になり、子供達、そしてその若い世代の親に地域の風土(自然や歴史)を伝えるイベントや地元小学校と連携した森林環境教育活動を展開しています。



大堰川から小倉山を望む(右)



植樹活動時の集合写真



伐採木のチップを敷均した散策路

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

かつての小倉山は、アカマツが中心の森林植生と景観でしたが、燃料転換の影響から山に人がいなくなった結果、荒廃した環境となり、アカマツは枯れ、ソヨゴやコジイが優占する植生景観へと変化しました。こういった環境の変化は、多くの寺院の借景景観としての価値を低下させるとともに、長い時代暮らしてきた生物相の減少にも繋がっていま

した。そのため、地域団体や住民が1つになり、歴史ある嵯峨嵐山の森林景観を再生するため、定期的な除伐等維持管理活動や、森林環境教育活動を通じて、地域風土(歴史・自然)の価値を知ってもらいながら、地域が連携し維持保全活動を行う人の輪を広げる活動を行っています。



森づくり活動(アカマツ林)



森づくり活動(竹林)



間伐材を使ったカトラリーづくりイベント

3 活動の成果や波及効果等

会設立当初の会員数が30名足らずであったのが、森づくりに関わるイベント等を行うことにより関心が深まった方が多く、現在は70名近くの会員数になっています。活動を活性化につれ、地元の企業や商店街の関心も深まり、各種イベントからの参画者とともに団体さんの会員数も増加しています。

かつての荒廃した森林は明るく再生され、植樹したアカマツは6m近く成長、林床ではツツジが彩る景観となりました。



しめ縄づくりイベント



コケテラリウムづくりイベント



季刊誌の発刊



竹林再生から得た副産物(筍)を使った缶詰の作成

喜びの声



受賞者
景勝・小倉山を守る会
会長
長尾 憲佑

コメント

この度は名誉ある賞を頂き有難うございます。私たちは嵯峨嵐山で京都のアカマツ林の借景景観を再生する活動を行っています。アカマツが成木になるまで35年はかかると言われています。この活動が発展的に受け継がれていくよう地域の皆様と汗を流し、嵯峨嵐山の景観再生に努めています。

活動の内容

- 除伐等の森林維持管理活動
- 地域の風土を伝えるイベントの開催
- 地元小学校と連携した森林環境教育活動
- 季刊誌やハンドブック等の発刊
- 副産物を使った缶詰の作成・販売

活動の経歴

平成25年 景勝・小倉山を守る会設立
令和3年 インフラメンテナンス大賞特別賞 受賞
京都市景観奨励賞 受賞

所在地 京都市右京区小倉町

活動主体及び連絡先 景勝・小倉山を守る会
京都市中京区橘町92
TEL:075-708-8587 FAX:075-708-8494

対象となる社会資本 小倉山

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編